

### 2012年度 会員意見調査結果

# 所得<sup>医業</sup>400万未満が最多

## 歯科医療危機打開には参院選が影響

### 来院患者15人未満 が急増

協会は、2年に一度、医療制度や日常臨床、医業経営などさまざまな分野について、会員の意見を集約し、要望に沿った活動を通じて「頼りになる協会づくり」の指針を得るために会員意見調査を実施している。2013年1月末時点の大阪府歯科保険医協会・開業医会員の20%を無作為抽出し郵送で依頼。実施期間は2月20日～3月7日までの14日間とした。調査結果では、ますます厳しくなる会員院所の経営状況などリアルな実態が明らかとなった。会員意見調査の概要を報告する。

一日当たりの平均患者数の層で15・3%、次に10～15人で15.3%、最も多かつたのは10～15人と16～20人で21.5%、26～30人で12.6%、10

一日当たりの平均患者数

	今回	前回	前回比
10人未満	11.5%	8.5%	3.0
10～15人	15.3%	18.0%	▲2.7
16～20人	15.3%	11.3%	4.0
21～25人	13.1%	16.3%	▲3.2
26～30人	12.6%	16.6%	▲4.0
31～35人	6.6%	7.8%	▲1.2
36～40人	6.6%	6.4%	0.2
41～45人	4.9%	3.9%	1.0
46～50人	4.4%	4.2%	0.2
51人以上	9.8%	7.1%	2.7

人未満で11.5%となっている。一方、16～25人の層で8ポイント減っており、この十数年での患者数の減少が伺える。

### 30代の3割超が 所得400万未満

医業所得は「400万円未満」が19.6%と最も多く、次いで「60万円～140万円」の14.0%と続

各年齢区分における医業所得層の割合

	400万円未満	～600万円	～800万円	～1000万円	～1200万円
20歳代	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	31.6%	10.5%	5.3%	5.3%	5.3%
40歳代	21.8%	12.7%	9.1%	7.3%	10.9%
50歳代	13.3%	3.3%	15.0%	18.3%	13.3%
60歳代	17.6%	29.4%	11.8%	14.7%	8.8%
70歳以上	20.0%	30.0%	0.0%	10.0%	20.0%

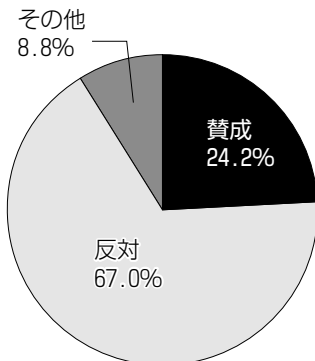
	～1400万円	～1600万円	～1800万円	～2000万円	2000万円超
20歳代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	21.1%	0.0%	10.5%	5.3%	5.3%
40歳代	1.8%	1.8%	9.1%	16.4%	9.1%
50歳代	10.0%	8.3%	3.3%	6.7%	8.3%
60歳代	2.9%	2.9%	2.9%	5.9%	2.9%
70歳以上	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%

業所得の区分の割合を見たら、「400万円未満」を盛りの年齢層の2～3割が見ると30歳代の31.6%、経営が非常に厳しくなっていることが伺える。

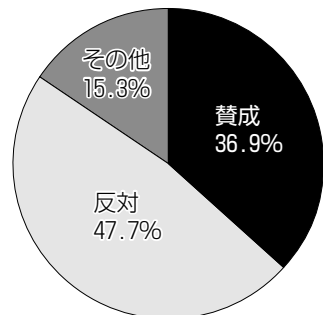
### TPP・消費税は 反対が多数

TPP参加や消費税増税への賛否を見ると、TPP参加に「賛成」が36.9%、「反対」が47.7%

消費税率10%への引き上げについて



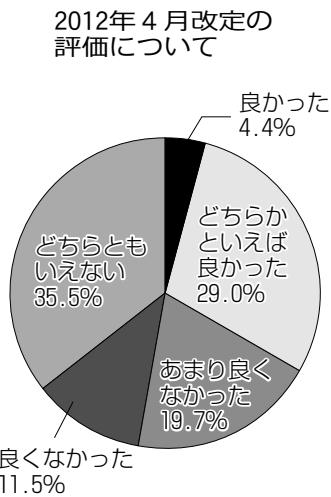
TPP (環太平洋戦略的経済連携協定) 参加について



消費税率の10%増税についても「賛成」が24.2%、「反対」が67.0%と反対が過半数を大きく超えた。消費税増税による医療機関の「損税」負担や患者の生活悪化、景気後退の懸念などが反映されている。

### 12年診療報酬改定 肯定的な受け止め

診療報酬改定の評価については、「良かった」が29.0%、「どちらか良かった」が4.4%、「どちらか悪かった」が19.7%、「悪かった」が11.5%



今改定で評価できる項目は何ですか(複数回答可)

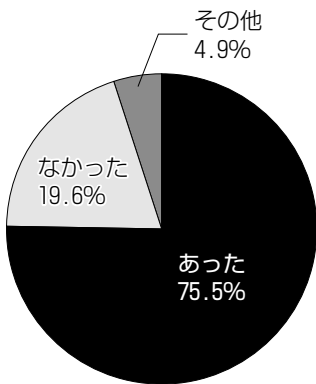
歯内療法関連の技術料の引き上げ	52.6%
歯周病関連の技術料の引き上げ	34.7%
欠損補綴関連の技術料の引き上げ	32.4%
保存修復関連の技術料の引き上げ	31.8%
臼歯部の接着ブリッジ	20.8%
再診時外来環の導入	19.1%
評価できる項目がない	15.0%
歯科用3次元エックス線断層撮影の導入	9.2%
歯科訪問診療1の引き上げ	5.2%
歯科訪問診療補助加算の導入	5.2%
周術期口腔機能管理の導入	4.6%
その他	0.6%

した。否定的な評価は31.6%。改定の評価で、これまで肯定的評価が上回った。肯定的評価が上回った。

### 経済的理由で中断 会員の7割超経験

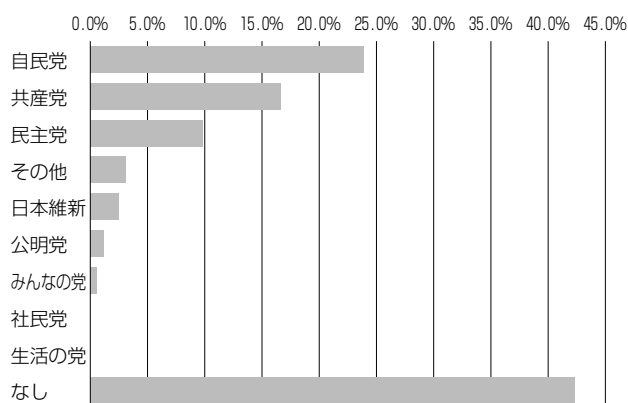
患者の受診動向について、昨年1年間で経済的理由によると思われる治療中断を経験していることが明らかとなった。患者の口腔内の健康悪化が懸念

昨年1年間で経済的理由によると思われる治療中断



の回答が75.5%と驚くほど多数を占めた。「なかった」は19.6%だった。圧倒的多数の会員が経済的理由による治療中断を経験していることが明らかとなった。患者の口腔内の健康悪化が懸念

開業医に理解があると感じられる政党



### 理解のある政党 自民・共産が2強

7月の参院選の結果が来月4月の診療報酬改定や今後の社会保障「改革」に大きな影響を与えることは間違いない。